

# 「歴史的環境の保全とまちづくりを学ぶ」

担当教員名 根崎 光男・板橋 美也

## コース概要

日程	2017年9月4日、9月7日～9日
場所	東京都中央区、神奈川県箱根町
参加人数	23名

## コースのねらい

本コースは、各地に残る史跡や建造物、文化的景観などの歴史的環境を保全していくための取り組みとその課題を学び、それらがまちづくりに果たす役割を考えることを目的としています。



浜離宮恩賜庭園・松の御茶屋で講義を聞く

## 内容

本コースは、日帰りコースと2泊3日の宿泊コースから成り立っています。前者は東京湾に面して江戸幕府将軍の別荘から天皇家の離宮となった浜離宮恩賜庭園、後者は旧東海道に位置づく小田原城、箱根関所、旧街道石畳・杉並木・一里塚、三島大社を訪ね、その保全の実情を見てきました。いずれも、国内有数の風光明媚な観光地であり、かつ歴史資源の活用とまちづくりの取り組みとを学べる恰好の地域でもあります。それらの現場に行き、直接、担当者の方からその現状と課題について話をうかがうことで、今後の学習に役立てられるように配慮しています。

## 学習を終えて

今回参加させていただいたフィールドスタディでは、歴史的環境の保全とまちづくりへの取り組みについて学習しました。浜離宮恩賜庭園、小田原城、箱根関所及び旧東海道関連史跡、三島大社などを巡りましたが、どこも歴史が深く、魅力的な景観と建造物であり、そのまち全体を豊かにする観光資源だと感慨深く思いました。各地域で共通する歴史的環境の観光資源への活用についての思いは、「どうすればより多くの観光客に楽しんでもらうことができるか」ということが大きな課題であり、行政の担当者を先導にその地域に住む人々の協力のもと、よりよいまちづくりをしていくためにどういう政策を打ち出すべきかの試行錯誤を重ねていました。現地に出かけたことで、そうした実情を担当者の方々から直接聞くことができ、また実際に史跡や歴史的建造物を見学したことで、諸課題を肌で感じることができました。座学では味わうことのできない学びを、五感で体験することができ、とても充実した4日間でした。(3年 青木 千紘)



旧街道石畳を歩く



箱根関所の概要説明を受ける